

(特選)

☆小雨降る谷戸の小径や濃紫陽花

繁好

鎌倉の谷の径治いに濃紫陽花が咲いている。折から小雨が降ってをり、雨の中の紫陽花を愛でている。紫陽花は雨の中でこそ美しく見える。日照りの紫陽花はそれほどでもない。雨と紫陽花の取り合せが決まった秀句。

・朝練の短バンの子ら柿若葉

良月

小学校のクラブ活動の景であろうか。授業の始まる前に集まって体操の練習をしている。短バンの子らと柿若葉の取り合せが効果的な秀句。俳句は取り合せの良し悪しで決まる。中七の『短バンの子ら』の景が良く見える。

・東屋の屋根に雨音花菖蒲

たか志

公園の中にある東屋で雨を避けている。見渡せば花菖蒲が美しく咲いている。耳を澄ますと東屋の屋根を打つ雨音が聞こえてくる。視覚と聴覚とを取り合せた秀句である。

(入選)

・顔中に泥の光るや田植の子

たか志

・ぽつぽつと雨の波紋や合歓の花

尤子

・門柱に陶のシーサー大南風

進

・車椅子の高さに咲くや花菖蒲

進

・ほととぎす谷戸の大空晴れ渡り

一江

・吹き渡る六月の風重たかり

玄舟

(佳作)

・花びらに雨粒重し菖蒲園

一江

・大川の水濁りけり走り梅雨

繁好

・六月の竹林通る風青し

たか志

・床の間の一輪挿しや花菖蒲

繁好

・焼きそばの匂ふ屋台や花菖蒲

良月

・紫陽花の毬の大小ふはふはと

けんじ

・大ぶりのいさき届くや五六匹

邦夫

・途中まで解きし数独梅雨曇り

玄舟

・六月や小径をふさぐ草の丈

良月

・試技終へて乙女の笑みや風薫る

繁好

・六月や竹ひよろひよると丈競ひ

進

・くねくねと魚籠抜け出せり大鰻

よしまさ

・梅雨晴間窓辺の猫の大人しく

かつを

・雨粒のしつとり纏ふ花菖蒲

けんじ